

## 国立看護大学校研究課程部看護学研究科修士学位論文一覧（2008年）

### 国際看護・看護教育学

- ・WHOの勧告と女性の満足度評価からみた正常分娩ケアの検討 橋本 麻由美
- ・新人看護師の職業的成熟度とそれに関する因子 中原 博美

### 看護情報・管理学

- ・回復期リハビリテーション病棟における脳卒中患者の歩行能力回復に関する研究 池西 和哉
- ・男性看護職員の複数配置とその心理との関連  
—800床以上の病院に勤務する男性看護職員を対象として— 浦中 桂一

### 成人看護学

- ・成人期2型糖尿病患者の自己管理行動に関連する要因 藤田 宏美

### 精神看護学

- ・うつ病高齢者のストレス・マネジメントの構造  
—健常高齢者との比較から— 浅沼 瞳
- ・統合失調症者を持つ親の自己効力感を高める援助の開発とその効果に関する研究 山田 洋
- ・中学生における摂食障害傾向と感情表出との関連 中村 裕美

### 成育看護学

- ・不妊治療を受ける女性の思いと看護者のかかわり 川崎 有可

### 長寿看護学

2008年該当なし

以上の論文は、本学研究課程部の論文審査、および独立行政法人大学評価・学位授与機構の審査に合格した。

## 国立看護大学校研究紀要 投稿規定および執筆要領

### 投稿規定

#### 【名 称】

本誌は国立看護大学校研究紀要（以下、紀要と称す）とする。

#### 【目 的】

紀要は本学における研究の推進と研究成果の発表の場の提供を目的とする。

#### 【発 行】

原則として年1回刊行する。

#### 【掲載論文】

掲載論文は、未発表のものに限る。ただし、学会発表など、学術論文ではない形で公表した研究については、その旨（学術集会名、発表日など）を明記すれば掲載可能とする。

原稿の種類は、原著、総説、その他であり、それぞれの内容は以下のとおりである。

- 1) 原 著……独自のデータに基づき、独創性が高く新しい知見が論理的に示されている学術論文
- 2) 総 説……特定のテーマについて、文献のレビューなどを通して知見を多面的に概観し総合的に概説した学術論文
- 3) その他……1) 2) に該当しないが、記載に値すると学術研究委員会（以下、委員会と称す）が判断したもの  
※学術論文とは、論文の構成に、緒言・目的、研究方法、結果、考察を含むものとする。

#### 【投稿資格】

- 1) 本学教職員（学外者との共同研究も可）
- 2) 本学非常勤講師（学外者との共同研究も可）
- 3) 在職中の研究を発表する本学元教職員
- 4) その他委員会が適当と認めたもの

#### 【原稿の受付および採否】

- 1) 受付日は、紀要の提出要件を満たしている原稿の委員会への到着日とする。
- 2) 投稿原稿の採否、原稿の種類、採用決定日、掲載順は査読を経て委員会において決定する。

#### 【原稿の提出】

- 1) 原稿は正本1部と副本（著者名や連絡先のメールアドレスなど、著者を特定できる情報を削除したもの）3部を提出する。さらに採用決定後、求めに応じて原稿の電子（Microsoft Word）ファイルを提出する。
- 2) 原稿の作成方法などの詳細は、委員会が定める執筆要領による。
- 3) 原稿は郵送・メール・直接持参のいずれかの方法で提出する。郵送する場合は、封筒に「投稿原稿在中」と朱書きし、書留郵便とする。メールの場合は、原稿を添付し、kiyo@ncn.ac.jp宛て送付する。委員会がメールを受信後3日以内に、投稿メール送信元に確認のメールを送信する。確認メールが届かない場合は、問い合わせ先まで連絡すること。
- 4) 原稿の提出先および問い合わせ先

〒 204-8575 東京都清瀬市梅園 1-2-1 国立看護大学校 学術研究委員会  
電話：042-495-2211

### 【著者校正】

著者校正は印刷上の誤り程度にとどめ、内容の大幅な変更や加筆は認めない。

### 【インターネットでの公開】

掲載された投稿論文は、インターネット上での公開を前提とする。

### 【著作権】

投稿された論文が本誌に掲載された場合、印刷版面を利用して複写・複製・送信し(データベース化などの変形使用も含む)頒布すること、翻訳・翻案・ダイジェストなどにより二次的著作物として頒布すること、および第三者に対して転載を許諾する権利は国立看護大学校に帰属する。なお、これは、著作者自身のこれらの権利を制限するものではない。

### 執筆要領

#### 【和文原稿の執筆要領】

和文原稿の執筆要領は以下のとおりとする。なお、英文原稿の執筆要領については、英文用投稿規定 (Information for Authors) の執筆要領 (Manuscript Preparations) の項に従うこと。

- 1) 原稿は MS Word を用いて作成する。
- 2) 原稿は A 4 判用紙を用い、余白を十分にとり 1 枚あたり 25 字× 32 行 (800 字) 横書きとする。原稿の総ページ数は 800 字× 20 枚以内とする。この場合、図表は 1 点につき 0.5 枚として計算する。
- 3) 原稿は A 4 判用紙の片面のみに印刷し、表紙から本文、文献までページ番号を余白下中央に記す。図表にはページ番号をつけない。
- 4) 数字・欧文は半角を使用する。
- 5) 原稿の構成は、表紙、要旨、キーワード、本文、文献、表、図の順とする。本文の章立、項目番号は I. → 1. → 1) → (1) とする。
- 6) 正本原稿の表紙には、上半分に表題、著者名、所属機関名、5 語以内のキーワードを記載し、それぞれに英文を付記する。下半分には希望する原稿の種類 (「原著」「総説」「その他」)、原稿・図・表の枚数、連絡責任者の氏名・住所・電話番号・FAX・e-mail アドレスを明記する。副本 3 部の表紙については、著者を特定できる情報をすべて削除すること。
- 7) 要旨は、和文要旨 (400 字程度) および英文要旨 (250 語程度) を記載し、それぞれ日本語のキーワード (5 語以内) および英語のキーワード (5 語以内) を付記する。ただし、希望する原稿の種類が「その他」の場合は、英文要旨および英語のキーワードを省略することができる。
- 8) 本文中の文献の記載方法、および文献リストの記載様式は下記に別途定める。
- 9) 図表は、図 1、表 1 など通し番号をつけ、本文とは別に 1 表 1 図ごとに A 4 判用紙を用いて作成し、原図は、そのまま製版が可能なものとする。本文欄外に挿入希望位置を朱書きすること。

#### 【文献の引用および記載様式】

文献を引用する際は、公表された著作物からのものであり、その出典を明記し、引用する必要性と照らして必要最小限の引用であること。

##### 1) 本文中の文献の記載方法

- (1) 文献の本文中の引用は、著者の姓、発行年を括弧表示する (佐々木, 2001)。部分的に引用する場合には、著者名、発行年と併せてページ数を明示する (駒松, 1995, p.155)。

(2) 2名以上の著者の共著の場合は、筆頭著者の姓だけを引用して「ら」または“et al.”をつける(竹田ら, 2002) (Woods et al., 2001)。

(3) 同じ著者の複数の文献を同一箇所引用したり、異なる著者による複数の著作を同一箇所引用したりする場合には、同じ括弧の中に筆頭著者の姓のアルファベット順で文献を並べ、セミコロンで文献を区切る。  
例) (安藤, 1991, 1993; 野村ら, 2000a, 2000b; Woods et al., 2001; 米田ら, 2005)

## 2) 文献リストの記載様式

文献リストは、本文末尾に「文献」として、和文、英文を分けずにすべて筆頭著者の姓のアルファベット順に並べる。共著者は6名まで表記し、7番目以降の著者は「他」として表記する。

記載方法は下記の例示に従う。なお、英文の記載様式については、英文用執筆要領を参考にすること。

### (1) 雑誌掲載論文の場合

著者名(発行年). 論文の表題. 掲載雑誌名, 巻(号), 最初のページ数-最後のページ数.

例) 國島広之, 平真理子, 野津田志保, 金澤悦子, 佐藤カク子, 八田益充他(2005). 感染対策地域ネットワークに関するアンケート調査. 環境感染, 20(2), 119-123.

Matsumoto, A., Kanda, K., & Shigematsu, H. (2002). Development and implementation of a critical pathway for abdominal aortic aneurysms in Japan. *Journal of Vascular Nursing*, 20, 14-21.

### (2) 単行本の場合

著者名(発行年). 書名(版数). 出版社名, 発行地.

例) 松井和子(1996). 頸髄損傷—自立を支えるケア・システム. 医学書院, 東京.

Polit, D. F., & Hungler, B. P. (1999). *Nursing research: Principles and methods* (6<sup>th</sup> ed.). Philadelphia: J. B. Lippincott.

著者名(発行年). 論文の表題. 編者名, 書名(版数). ページ数, 出版社名, 発行地.

例) 駒松仁子(1995). 臨床看護の視座—《ふれる》ことをめぐって. 山岸健編, 家族/看護/医の社会学. p.155, サンワコーポレーション, 東京.

### (3) 翻訳書の場合

原著者名(原書の発行年)/訳者名(翻訳書の発行年). 翻訳書の書名(版数). 出版社名, 発行地.

例) Smith, P.(1992)/武井麻子, 前田泰樹監訳(2000). 感情労働としての看護. ゆみる出版, 東京.

### (4) インターネット上の資料の場合

著者(可能であれば), 文書タイトル, 日付(出版または更新もしくは検索の日付), アドレス(URL)

## 【図表などの他誌(書)からの転載・改変】

図表などの他誌(書)からの転載・改変などに関する責任は、すべて著者が負うものとし、下記を参考にすること。

- 1) 転載・改変の際は、原著者ならびに出版社の書面許諾が必要であり、許諾書を委員会に提出すること。
- 2) 転載・改変は、必要性、必然性があり、かつその目的と照らして必要最小限である。
- 3) 出典および許諾を得た旨を図表などの脚注に明記する。

## The Journal of Nursing Studies : National College of Nursing, Japan Information for Authors

**Title:** The Journal of Nursing Studies National College of Nursing, Japan (henceforth referred to as The Journal).

**Aim:** To encourage and support scholarly works and provide opportunities to report the research of all professionals related to the National College of Nursing, Japan (NCNJ).

**Published:** Once a year.

**Type of contributions (manuscripts):** Manuscripts should not currently be under review or about to be published elsewhere before appearing in The Journal. Manuscripts deriving from oral presentations at conferences or those which have previously appeared in conference proceedings are eligible if basic details with respect to the presentation, such as the name of the conference and the date of presentation, are noted.

Data-based, theory-based, and review articles are welcomed and The Journal Committee (henceforth The Committee) will accept them for publication after a double-blind peer review. Type of contributions (manuscripts) include scientific research papers (original articles or review articles) or other articles as follows:

- 1) **Original article:** provides new knowledge and perspectives that are presented in a logical manner based upon originally collected data.
- 2) **Review article:** integrates and synthesizes research findings in a specific area of study through a literature review.
- 3) **Others:** other manuscripts which do not fulfill the above criteria but are thought to merit publication in The Journal by The Committee.

The research paper should include introduction, methods, results, and discussion.

### Authorship qualification

- 1) Faculty and staff of the NCNJ (includes joint research with other institutions).
- 2) Part time faculty of the NCNJ (includes joint research with other institutions).
- 3) Former faculty and staff of the NCNJ whose investigation/s was/were conducted while working at the NCNJ.
- 4) The Committee may solicit contributions from other institutions.

### Reception and acceptance/rejection

- 1) The received date is the arrival date of manuscript to The Committee; the manuscript must comply with the requirements of manuscript preparation and submission.
- 2) Submissions will be peer-reviewed by The Committee. The Committee will make a final decision regarding acceptance or rejection for the submission, and the type, the accepted date, and the order of articles in The Journal.

### Manuscripts submission process

- 1) The original and three copies of each manuscript should be submitted. Three copies are needed for the review process, and therefore, information regarding the authors, such as names, affiliations, or addresses should be deleted from the title page. Once a manuscript is accepted, the manuscript should be submitted in Microsoft Word file.
- 2) The author must submit the paper in the style prescribed in "manuscript preparation."
- 3) Manuscripts can be delivered by hand, mailed to the below address, or e-mailed with Microsoft Word file attachment to [kiyo@ncn.ac.jp](mailto:kiyo@ncn.ac.jp). In the case of mailing, send via registered mail and write "contribution manuscript" in red on the envelope.

In the case of e-mail, contact us if the confirmation message has not been sent in three days.

4) Contact and mailing address:

The Journal Committee National College of Nursing, Japan  
1-2-1 Umezono, Kiyose-shi, Tokyo, 204-8575, Japan Tel: +81-42-495-2211

**Proofreading:** Corrections should be restricted to typesetting errors; any other amendments will not be accepted.

**Public presentation on the internet:** Manuscripts accepted for publication will be posted on the internet on the homepage of NCNJ.

**Copyright:** Once a manuscript is accepted for publication, all rights are reserved to the NCNJ.

### **Manuscript Preparations** -----

Format and style of manuscripts should basically be according to the Publication Manual of the American Psychological Association (APA), 5<sup>th</sup> Edition, 2001. The following guidelines of the journal represent the elements of APA editorial style that should be followed, in addition to some exceptions from the APA guidelines.

**Standard manuscripts form:** Manuscripts should be typewritten on one side of white A4 size paper. Manuscripts should be double-spaced and be unjustified. The preferred typeface is Times Roman or Courier and the size of the type should be 12 point. Each page should have at least a one-inch margin (recommended 1.25 inches) at the top, bottom, right, and left of the page, with no more than 27 lines on a page. Pages should be numbered consecutively with the first two or three words from the title in the upper right-hand corner, beginning from title page, excluding table(s) and figure(s). The content of a typical manuscript should include a title page, abstract, text, tables and figures.

**Paper length:** Papers must not exceed 20 pages, including a title page, abstract, text, tables, and figures. Each table and figure will be counted as a half-page.

**Title page:** This is page 1 and should contain the following:

On upper half of the page:

- Title
- Full name(s) and affiliation(s) of the author(s)
- Keywords

\* For English manuscripts, it is necessary to attach the above information in Japanese.

On lower half of the page:

- Type of manuscript
- Paper length, total number of tables and figures
- Contact details of the corresponding author, including the name, address, phone number, fax number, and e-mail address.

**Abstract:** Should be approximately 250 words. A Japanese-written abstract of approximately 400 characters should be also submitted.

**Keywords:** Up to five keywords should be listed at the end of abstract.

## References:

Reference citations must be made from published materials. The usage of reference citations should be necessary and indispensable to the text. All publications cited in text must be presented in the reference list that should be styled according to the guidelines of APA format (APA, pp. 239-281).

The reference list should be on a separate page, and should be in an alphabetical order. References should have a heading indent. Examples of the most common styles are as follows.

### Journal article:

Matsumoto, A., Kanda, K., & Shigematsu, H. (2002). Development and implementation of a critical pathway for abdominal aortic aneurysms in Japan. *Journal of Vascular Nursing*, 20, 14-21.

### Journal article in a journal paginated by issue:

Stillman, F. A. (1995). Smoking cessation for the hospitalized cardiac patients: Rationale for and report of a model program. *Journal of Cardiac Nursing*, 9(2), 25-36.

### Book:

Polit, D. F., & Hungler, B. P. (1999). *Nursing research: Principles and methods* (6<sup>th</sup> ed.). Philadelphia: J. B. Lippincott.

### Chapter of book:

Newton, K. M., & Froelicher, E. S. (2000). *Coronary heart disease risk factors*. In S. L. Woods, E. S. Froelicher, & S. U. Motzer (Eds.), *Cardiac nursing* (4<sup>th</sup> ed., pp. 739-756). Philadelphia: J. B. Lippincott.

### Internet source:

At a minimum, a reference of an internet source should provide:

author(s) (if possible), document title or description, date (either the date of publication or update or the date of retrieval), address (a uniform resource locator, or URL)

Whenever possible, identify the author of document (APA, p. 269). For each example of various types of documents please refer to APA book (APA, pp. 271-281).

For more detailed information, refer to the APA book.

**Tables and figures:** These should be presented on a separate page following the references. Each table and figure should be numbered and placement of each should be noted in the text.

### **Copyright Permission:**

The author is responsible for securing written permission from the copyright holder for the reproduction or adaptation of any copyrighted materials such as tables or figures. This written permission should be obtained and submitted to The Committee.

The reference and a notice of permission should be written in a footnote of tables or figures.



## 編集後記

ここに、国立看護大学校研究紀要第8巻第1号をお届けできますことを、学術研究委員一同、嬉しく思っております。発行にあたっては、多くの方々のご協力をいただきました。深く感謝申し上げます。

今年度より、紀要の構成に少し工夫を加えました。まず論文の種類についてですが、これまでの5分類をまとめ、原著・総説・その他の3分類にいたしました。これによって、投稿者も査読者も、論文の種類分けに労力を費やすことなく、論文自体の質を高めることに時間をかけていただけるのではないかと考えています。また、FD(ファカルティ・ディベロップメント)活動報告の掲載を始めました。ご活用いただけましたら幸いです。

本紀要はオンラインジャーナルです。国内外からインターネットを通してアクセスできるため、情報発信の場としては最適です。本学卒業生・修了生からの投稿も増えてきており、心強く思っています。臨床からの投稿も大歓迎です。ぜひ、本紀要をご活用ください。

国立看護大学校研究紀要が、臨床や教育の質向上に寄与できますことを、学術研究委員一同、心より願っております。

学術研究委員会副委員長 小澤三枝子

## 学術研究委員会

委員長	鉦鹿 健吉	副委員長	小澤 三枝子		
委員	石井 智香子	竹村 玲子	松岡 里枝子	俵 麻紀	
	綿貫 成明	阿部 由香	遠藤 数江	田中 留伊	
	西内 清美	水野 正之	小熊 亜希子		
事務局	古閑 洋佐	谷本 和則	伊藤 健一		

## 国立看護大学校研究紀要 第8巻 第1号

2009年3月25日

編集 国立看護大学校学術研究委員会

発行 国立看護大学校

東京都清瀬市梅園1丁目2番地1号

電話 042-495-2211(代) FAX 042-495-2758

印刷 株式会社コムラ